

寄附者設定テーマ事業 事業報告シート

団体名	青少年育成島根県民会議
テーマ名	子どもの健全育成
事業名	「しまね家庭の日」普及・啓発事業
事業費(うち助成金額)	372,249円(300,000円)



■事業目的

青少年の健やかな育成のための最も大切な場所は「家庭」です。しかしながら、近年青少年を取り巻く社会環境が急速に変化する中で、家族のふれあいが減少し、家庭の教育力は低下しています。「しまね家庭の日」運動は、家庭教育の支援や親子のふれあう機会や場づくりを通し、家庭が担う役割の重要性を再認識するための運動です。月に一度、意識して家族と一緒に過ごす日を作ったり、「テレビを見ない」「ゲームをしない」といったノーメディアの日を作ったりすることにより、家族がふれあう時間を共有しコミュニケーションをはかることを目的としています。

■事業内容

- ・県内商業施設や県立図書館の計3か所で「しまね家庭の日」広報・啓発のパネル展示を行いました。「しまね家庭の日の紹介」「家族の思い出エッセイ過去受賞作品の紹介」「県民会議施策の紹介」のパネルを作成し、展示しました。
- ・島根県在住者、島根県の学校に在学していた者を対象に「家族の思い出エッセイ」を募集し、受賞作品を県民会議のホームページに掲載しました。
- ・月ごとの「しまね家庭の日」の過ごし方を記載したカレンダーを作成し、県内の幼稚園、保育所、小中学校等に配布しました。

■事業成果と今後の展望

県内東部と西部の商業施設でパネルを展示したことにより、買い物客等多くの方に「しまね家庭の日」を知ってもらうきっかけになったと思います。また県立図書館での展示は、展示に合わせた関連図書を選出をしていただき、相乗的な啓発となりました。エッセイは今回が3回目の募集でしたが、7歳から80代まで幅広い年齢の方々の応募がありました。来年度も引き続き募集を行い、パネル展示に合わせて入賞作品の展示を行うことにより、「しまね家庭の日」について広く県民のみなさんに啓発したいと思います。カレンダーは今年度初めて作成しました。県内の幼稚園や保育所等に配布し、子どもだけではなく大人の目にもつきやすい場所へ掲示してもらうようお願いしました。カレンダーには「家庭の日にこんな過ごし方はどうですか？」とひと月ごとの過ごし方の提案を記載しています。来年度も引き続き作成し、今年度は配布できなかった児童クラブにも配布したいと思っています。

「しまね家庭の日」は平成14年から当会議が推進している運動ですが、近年は社会での認知度が低くなっていたり、運動の趣旨が正しく伝わっていなかったりしています。コロナ禍の中、家庭のあり方を改めて考えるきっかけとなりました。これからも「しまね家庭の日」の広報・啓発を通じて、家庭だけではなく社会全体で青少年の健やかな育成を支えていく環境を整えていくことが当会議の願いです。